

子どものけんりニュース

だいごう
第9号
ほっこう
2006.9.1発行

さっぽろし
札幌市がすすめている「子どものけんりじょうれい（札幌市における子どものことについてのきまり）づくり」についての
ニュースレターです！ 一緒に「子どものけんり」について考えてみませんか！？

32名の子どもたちが活動してきた「子ども委員会」は、7月24日に中央区のWEST19で提案発表会を行い、約半年間にわたる議論の結果をまとめた「子どものけんり提案書」を上田市長に提出しました。子どもにとって大切なけんりのことなどについて、子ども委員と意見交換した市長は「子ども委員会の意見を大事にして条例づくりに生かします。」と決意を述べました。



ていあんほっぴょうかい ようき 提案発表会の様子 その1

会場には、約40人の市民の方々が発表を聞きに訪れました。子ども委員を代表して瀧本委員長が、「半年間の活動を通して、友だちや身の回りの大人の意見をレポートにまとめたり、子どものけんりフォーラムや大人の条例検討委員会との意見交換会に参加したりして、子どものけんりについて考えを深めることができたと思います。わたしたちの提案を、条例の制定に役立ててほしいと思います。」とあいさつ。

提案書を手渡された市長は、「子どものけんりに関することが、普段の生活に基づいて、とてもわかりやすくまとめられていると思います。」と感想を話しました。



【提案書を手渡し様子】

ていあんほっぴょうかい ようき 提案発表会の様子 その2

意見交換の中では、子ども委員から、「雪国のくらしを学ぶことについて、札幌には雪かきの苦労があるけれど、スキーなどの楽しみもある。」「失敗しても新たなチャレンジをすることについて、受験など、やり直せないものもあると思う。」などの意見がありました。

これらのことについて市長は、「雪かきなどを通して、様々な人たちと協力する経験を積むことが大切だと思う。」「失敗したとき、自分をダメな人間だと思わず、失敗をふまえて新たに出発してほしい。いろいろな可能性があることを学んでほしい。」と答えました。



【意見交換の様子】

こ けんり ていあんしょ 「子どものけんり提案書」

提案書には、「子どもにとって大切なけんり」と「けんりしんがいからのきゅうさい」について提案が掲載されています。

「大切なけんり」として、計115項目のけんりが提案されていますが、これらのけんりの内容については、4月末に行われた条例検討委員会との意見交換会でも発表され、札幌市が作成した条例素案に反映されました。

また、「けんりしんがいからのきゅうさい」のために大切なこととして、相談を受ける人や相談機関は秘密を守ること、いじめはいけないことだと子どもが自覚すること、友だちがいてくれることなどが提案されました。

(提案書は下記の場所で配布しています。)



【提案書】

じょうれいそあん よ いけん 条例素案に寄せられたご意見

市は、子どものけんりじょうれい素案に関する資料を配布し、市民の方々からの意見を募集しました。

7月3日から8月1日までの募集期間に、子ども2,000人、大人1,000人を超える、あわせて約3,500人の方々から、たくさんの貴重な意見や感想などが寄せられました。ありがとうございました。

寄せられたご意見などの内容を踏まえながら、これからの条例づくりを進めていきたいと考えています。



【募集資料配布の様子】

※「子どものけんり提案書」は市役所1階コピー、区役所、区民センター、図書館、子ども未来局などで配布しているほか、右記ホームページでも公開しています。

さっぽろしこ みらいきょここ いくせいごこ けんりすいしんか
札幌市子ども未来局子ども育成部子どものけんり推進課

でんわ 011-211-2942 ファックス 011-211-2943

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/>



さっぽろ市
04-G01-06-142
18-5-31